

平成27年度
上下水道局予算要求方針

【目次】

- 1 平成27年度上下水道局予算要求総括表及び経営方針・・・1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・3

1 平成27年度上下水道局予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成27年度上下水道局予算要求総括表

【上水道事業会計】

〈水道事業〉

平成27年度要求総額	32,333,430千円
(平成26年度予算額)	36,044,750千円)
前年度比	△ 3,711,320千円 (△10.3%)

〈水道用水供給事業〉

平成27年度要求総額	1,042,168千円
(平成26年度予算額)	1,095,320千円)
前年度比	△ 53,152千円 (△ 4.9%)

【工業用水道事業会計】

平成27年度要求総額	2,695,994千円
(平成26年度予算額)	2,926,740千円)
前年度比	△ 230,746千円 (△ 7.9%)

【下水道事業会計】

平成27年度要求総額	57,336,040千円
(平成26年度予算額)	57,085,500千円)
前年度比	250,540千円 (0.4%)

《主な事業》

(千円)

区 分	H27 A	H26 B	増減 A-B
(拡充) 水道老朽管更新事業 (水道)	5,621,760	5,090,000	531,760
(拡充) 浸水対策事業 (下水道)	3,200,000	3,000,000	200,000
(継続) 地震等対策事業 (上下水道)	2,495,492	2,730,000	△ 234,508
(継続) 下水汚泥燃料化事業 (下水道)	144,000	660,000	△ 516,000
(拡充) 水道事業の広域化 (水道)	285,017	148,000	137,017
(拡充) 海外事業の展開 (上下水道)	179,170	176,353	2,817

(2) 平成27年度上下水道局経営方針

上下水道局においては、老朽管更新、浸水対策、地震対策などの防災対策に積極的に取り組み、安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりを推進するとともに、健全な経営の維持に努めます。

また、水道事業の広域化や海外事業の戦略的な推進に取り組みます。

- 重点的に取り組むもの
 - 水道老朽管更新事業に56億円、浸水対策に32億円をそれぞれ計上し、継続的な対策を推進
 - 新たな広域連携の推進及び海外水ビジネスの積極的な展開

【上水道事業会計】

〈水道事業〉

- 健全経営の維持
 - 収益的収支は、17.4億円の黒字（うち長期前受金戻入益が12.2億円）
 - 単年度資金収支は、2.5億円のマイナス
 - 企業債残高は、0.1億円の縮減

〈水道用水供給事業〉

収益的収支で3.1億円の赤字が見込まれるものの、給水対象が2都市増え、給水量が増加する平成28年度を目途に、単年度収支を黒字化します。

【工業用水道事業会計】

- 健全経営の維持
 - 収益的収支は、2.5億円の黒字（うち長期前受金戻入益が2.7億円）
 - 単年度資金収支は、0.2億円の黒字を確保
 - 企業債残高は、0.8億円の増

【下水道事業会計】

- 健全経営の維持
 - 収益的収支は、4.8億円の黒字（うち長期前受金戻入益が14.8億円）
 - 単年度資金収支は、1.6億円のマイナス
 - 企業債残高は、45.8億円の縮減

2 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) いつでも安定して供給できる水道

自然災害や老朽化による漏水事故を未然に防ぐ対策として、経年劣化した水道施設の更新や耐震化を実施するとともに、これらが発生した場合でも安定した給水体制を確保するため、バックアップ機能の強化などに取り組みます。

Ⅲ－１・拡充

■水道の老朽管更新事業

5,621,760千円

(うち拡充分531,760千円)

経年劣化が進んでいる配水管・導送水管を計画的に更新するとともに、重要な管路の耐震化を推進します。なお、更新延長を年50kmから年62kmへ前倒し実施することにより、平成32年度までに老朽配水管(昭和47年以前の鑄鉄管)の更新を終了します。

- ・配水管更新 L=62.0km 4,661,335千円
- ・導送水管更新 L=1.9km 960,425千円

Ⅲ－１・継続

■水道の地震等対策推進事業

995,492千円

地震による漏水事故を未然に防ぐ対策として、耐震化を計画的に実施するとともに、地震等災害の発生時でも安定した給水体制を確保するため、送水管の2条化整備などによるバックアップ機能の強化にも取り組みます。

- ・地震対策推進事業 419,662千円
浄水施設や配水池の耐震化工事など
- ・バックアップ機能の強化対策 560,958千円
小森江系送水管 L=350m など
- ・災害対策整備事業 10,186千円 など
油須原下立坑法面整備工事 など

Ⅲ－１・拡充

■工業用水道の改築事業

460,833千円

(うち拡充分35,062千円)

経年劣化が進んでいる工業用水道管を更新するとともに耐震化を推進し、安定給水の向上を図ります。

(2) お客さまが安心しておいしく飲める水道

さらに安全でおいしい水をお届けできるよう、水質の向上に取り組めます。

Ⅲ－１・継続

■遠賀川の水質改善対策

9,600千円

遠賀川流域の水質・環境の改善を図ることを目的とする住民団体等による環境保全活動などに対して支援を実施します。

(3) 安全で安心なまちを支える下水道

豪雨による浸水災害や東日本大震災等を踏まえ、安全で安心な災害に強いまちづくりに取り組みます。

Ⅱ－１・拡充

■浸水対策事業

3,200,000千円

《合流改善事業の一部を含む》

(うち拡充分200,000千円)

浸水被害箇所及び局所的集中豪雨への対応のため、平成25年7月豪雨の中長期対策に本格着手するとともに、小倉都心部の安全度向上を図ります。

他の地区についても、引き続き計画的に雨水幹線やポンプ場の整備を行い、浸水のない安全で安心なまちづくりに取り組みます。

・浸水対策事業の推進等

3,200,000千円

門司区大里戸ノ上、小倉北区昭和町、戸畑区天籟寺、
小倉南区沼本町、八幡西区真名子、若松区桜町周辺地区 など

Ⅱ－１・拡充

■下水道の地震対策推進事業

1,500,000千円

(うち拡充分100,000千円)

東日本大震災をふまえ、地震時でも下水処理機能を確保するため、避難地・防災拠点等に接続する管渠・ポンプ場の耐震化、浄化センターの耐震診断を行います。また、危機管理強化の観点からマンホールトイレシステムの整備に着手します。

- ・ 主な浄化センター：新町（門司区）、曾根（小倉南区） など
- ・ 主なポンプ場：片上ポンプ場耐震補強工事（門司区） など
- ・ 主な管渠：須賀町新町主要幹線（小倉北区） など

(4) 環境未来都市を推進する上下水道

低炭素社会の実現のため、エネルギー消費や環境負荷の少ない事業運営を目指します。

Ⅵ－２・継続

■下水汚泥燃料化事業

144,000千円

下水の処理過程で発生する下水汚泥からバイオマス燃料をつくり出し、石炭代替燃料として利用することで、CO₂の削減を図ります。

- ・ 日明浄化センター

Ⅵ－２・継続

■省エネルギー対策整備事業

69,320千円

送水ポンプの適正化や配水ブロックの改善により、エネルギーロスを減らし消費電力の削減を図ります。

- ・ 送水ポンプ等更新 工事 など

(5) 世界・地域に貢献する上下水道

本市の持つ高い上下水道技術を積極的に海外で活用するとともに、水道事業の広域化や海外水ビジネスを通じて、世界・地域に貢献する上下水道を目指します。

Ⅶ－３・拡充

■水道事業の広域化

285,017千円

(うち拡充分137,017千円)

新たな広域連携を推進するため、周辺地域を「宗像地域」「遠賀川流域地域」「市南部地域」「市東部地域」の4ブロックに分けて、関係機関等との広域連携の検討などを進めており、香春町への水道用水供給を行うため、施設整備を香春町の全額負担で行います。

また、宗像地区事務組合水道事業包括業務の受託を円滑に進めるため、宗像地区事務組合の負担で準備を進めます。

- ・ 香春町水道施設整備
- ・ 宗像地区事務組合水道事業包括業務の受託準備業務 など

Ⅶ－１・拡充

■海外事業の展開

179,170千円

(うち拡充分2,817千円)

カンボジア、ベトナム・ハイフォン市、インドネシア及び中国・大連市等において、技術協力・人材育成に貢献するとともに、官民連携組織「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を軸に海外水ビジネスを推進し、アジアなどのグローバル需要を取り込むことを目指します。また、日明浄化センター新管理棟建替えに併せて整備した、水ビジネスの国際戦略拠点を活用した事業展開を図ります。

Ⅶ－１・新規

■上下水道事業における新会社の設立

100,000千円

今後の上下水道のライフラインの効率的・安定的な運営、水道事業の広域化や海外水ビジネスへの対応のため、市が出資する株式会社を設立します。(一財)北九州上下水道協会を株式会社に移行するもの)